

議 事 録

会議の名称	平成28年度 第3回三田市行政改革推進会議
開催の日時	平成28年10月17日(月) 19時00分～20時00分
開催の場所	三田市役所本庁舎6階 委員会室B・C
出席した委員の氏名	北原鉄也委員、和田聡子委員、上田萌子委員、岡村佳高委員、浅居繁樹委員、水口雅雄委員、前中務委員
出席した庶務職員の職及び氏名	<三田市> 森哲男市長、城下隆広理事、岩越博幸経営管理部長、入江正浩財務室長 <事務局> 西垣戸泰財政課長、太田歩財政課課長補佐、下口真一財政課事務職員
その他出席者	なし
傍聴者の人数	0名
議 題	(1)行財政構造改革方針(案)について (2)今後のスケジュール等
会議の概要(結論)	・行財政構造改革方針(案)に対する意見書等について説明し、意見交換を行うとともに、今後のスケジュール等について報告した。
公開・非公開の区分	公開
使用した資料	・【資料5】三田市行財政構造改革方針(案)に対する意見について ・【資料6】行財政構造改革方針(案)に対する質問と現時点での事務局の考え方等 ・【資料7】新成長戦略プランの今後の進捗管理の取り扱いについて(当日資料)
連絡先	経営管理部 財務室 財政課 電話(079)559-5018

1 開 会

〔事務局：資料の確認等〕

2 審議事項

行財政構造改革方針(案)について

〔事務局より資料5、資料6に基づき、行財政構造改革方針(案)に対し委員より寄せられた意見・質問について説明。〕

会 長：ただいまの説明についてご意見等があればお願いしたい。

委 員：前回の会議で示された行財政構造改革方針(案)の具体的な修正はどのようなステップでなされるのか。

会 長：資料5の1枚目の裏面にあるように、委員からいただいた意見とパブリックコメントの意見を検討して市で改めて考える。それに基づいて構造改革方針に盛り込み、その案については次回の会議で報告があると思うが、公開等もなされると思う。我々は方針(案)に対して意見を述べるということであり、それに対して市側ではパブリックコメントと並んで参考にするということである。

事 務 局：11月中旬ごろからパブリックコメントを実施する。行政改革推進会議からの意見についても確認いただきながら、パブリックコメントを実施することになると思う。議会にもこのことについて説明する予定にしているので、議会からの意見もあると思う。それらの意見を総合的に判断して、方針として固めていきたい。固めた内容については、委員の皆さまにはお知らせする予定である。

委 員：まちづくり協議会については、非常に運営が難しく、事業をやろうとしたときにかえって手間とか時間がかかる。資料6の「事務局の考え方」にも「対話が重要だ」と書いてあるが、対話したくないと思う人もいて、これは難しいということを知っておいてほしい。対話というのは非常に重要だと思うが、この一言では片づけられないと思う。

また、資料5の項目3の重点改革項目Vについて、下水道管の老朽化が進みつつある。これについては経費を削減しようとしてもできないのではないかと。上下水は生活の基幹であるため、これを削減しようとするとは非常に難しい問題になって、単純な行政サービスを減らすということでは済まないのでは、厳しい改革を行っていかないとお金が出てこないのではないかと。重点改革項目VIのところが一番気になったのが、旧九鬼家住宅資料館の隣に三田ふるさと学習館がある。そこが非常に老朽化していて、内容はいいが、展示などもとても古く、本当に人が来るのか疑問でもある。施設を活かすのであれば節約ばかりではなく、建て替えなども改革の中で行わないといけないのではないかと。

会 長：まちづくり協議会については、資料5の重点改革項目Iのところにもそういう含みがあるという理解ができるのではないかと。具体的な意見は、2枚目以降に書かれているので、そういう意見はここには反映できていると思う。下水道や道路については、補修等の計画が作られていると思う。それをどこまで削減するかということは分からないが、計画にしたがって維持管理や補修を進めているという気がする。その点は今後お金がかかるが、計画はしていると思う。

指定管理の施設については、今後必要なものは支出していかないといけないと思うが、ご意見としてはよく分かる。

事 務 局：上下水道管の老朽化に伴う計画であるが、水道については水道ビジョンを作り、収支

見通しのもと耐震化や老朽管の敷設替えを進めている。下水道についても、今年度、来年度で下水道ビジョンを作るとともに、長期財政収支見通しを作りながら、今後老朽化する管の更新等を計画的にやっていく。その財源についても、収支見通しの中で見ていくことを考えている。

委員：全て文末が「期待します」という文面になっているが、適切なのか。特に重点改革項目のⅢやⅤは委員が強く要望していた部分であると思うので、「期待します」より「要望します」という表現に変えることはできるか。

会長：反映できると思う。「期待します」よりも「要望します」という表現がいいということか。

委員：例えば重点改革項目ⅠやⅥに関しては、比較的抽象的、長期的な目線になると思うので、期待するという表現に抑えてもいいが、特にⅢやⅤに関しては、短期間で財政をよりよいものにするには改革することが早急の課題であるという点では、「期待」というよりも、「強く切望している」という表現になると思う。

委員：資料5の項目1の上部に全体を総括して「要望します」と書いているので、以下は「期待します」と書いているのだと思う。「期待」とか「要望」とか表現を混在させるとややこしいので、全部統一した方がいいのではないか。

委員：上部で「要望します」と書いてから「期待します」と書くと表現が和らいでしまう。上部は「お願いします」にして、以下は「要望」にした方が強調される。

会長：各重点改革項目においては「期待します」で統一しているが、「要望します」で統一すると重複感があるので、例えば「求めます」に変更すると収まりがいいと思う。

委員：「求めます」でいいのではないか。

会長：各重点改革項目における表現について、「求めます」で統一しておかしくなければ、それでよいか。「期待します」よりは強い表現になるので、上部の「要望します」にも対応するのではないかと思う。

異論なし

委員：資料5の重点改革項目Ⅴについて、一般財源ベースで歳出を260億円程度に抑えると書いている。行財政構造改革方針案にも260億という数字は出ているが、現状が方針案にも資料5の意見書案にも書いていない。パブリックコメントを実施するのであれば、どの程度削減しないといけないのかを方針案か意見書のどちらかには書いた方がいいと思う。

会長：財政計画はパブリックコメントに添付するのか。

事務局：今のところパブリックコメントに財政計画、予算フレームをつける予定はない。今年度の一般財源ベースの当初予算は286.6億円になっているが、その中には来年度含まれないことが明らかなもの、例えば庁舎整備など投資的な経費も入っているので、単純な比較は難しい。28年度当初で言えば286.6億円から9%ほど下げないといけないということだが、このあたりのことをどのように取り扱うかが難しいと考えている。

委員：何か比較になる数値がある方が、どの程度削減していかないといけないのかということが市民に伝わる。注意書きなどを付けて、現状を書いた方がいいと思う。

事務局：指摘については了解しました。参考数値として28年度当初予算について記述する方向で考えたい。

委員：効率的な事務処理とは何かが分からない。IT化することによって、効率的になるという面もあるが、それだけではなくて、学校でやっている事業と行政がやっている事業は重複している面もあるのではないかと。子どもを対象にした事業については、手間とかノウハウとかを行政マンは持っていないような気がする。そういう見直しも必要ではないか。機械化だけではない。餅は餅屋というようなところに回していった方がいいのではないかと。効率とは何なのかということをもう少し具体的に考えないといけないのではないかと。

会長：行政運営において効率とは何かというと、なかなか難しい問題がある。今の意見というのは教育問題、子どもについて、教育委員会と市長部局とで重複があったりするのはないかという意見だと思う。市民と行政の役割分担を見直すなどしながら財政改革を進めるということは難しい課題だと思うが、それぞれの施策において、今の意見も含めて色々な形で仕組みについて見直しが必要になってくるのではないかと。

3 その他

[事務局より資料7に基づき、今後のスケジュールについて説明。]

会長：ただいまの説明に対し意見等あればお願いしたい。

委員：パブリックコメントはホームページ上だけなのか、それとも広報紙にも載せて意見をもらうのか。また、議員への確認については議会上でやるのか、それとも別の機会を設けてやるのか。

事務局：広報紙に掲載して意見を求め、周知を図る。また、パブリックコメントを実施する際には、議会の委員会に事前に説明することとしており、この会議での意見と併せて示すことになると思う。その際に議員からも意見が出されることがある。

4 閉会

以上